

11月議会臨時会

※◎全会一致で可決

分類	議案名等	結果
条例 (議員提出)	庁舎整備特別委員会の委員定数の変更について	◎

賛否が分かれた案件の審議結果一覧

※議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対

分 類	件 名	無所属の会 市民の力					誠心会					議会改革 ネットワーク			湖南市 公明党 議員団		日本共産党 湖南市 議員団	
		森 淳	望 月 卓	栗 津 寛三	堀 田 繁樹	藤 川 みゆき	菅 沼 利紀	上 野 顕介	松 山 克子	山 本 吉宗	加 藤 貞一郎	植 中 都	赤 祖 父 裕美	矢 野 進次	鶴 飼 八千子	桑 原 田 美 知 子	立 入 善治	松 井 圭子
条 例	湖南省農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
その他	副市長の選任につき同意を求めることについて	賛成：12 反対：5（採決は無記名投票により実施）																
	おうみ自治体クラウド協議会規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
請 願	原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	

請願・意見書 委員会審査報告

請願第6号 原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願書

◆産業経済常任委員会

請願者（意見陳述人として出席）の説明

避難者用無償住宅支援の対象者は、金銭的支援がほかにないなか、唯一の支援である。福島県に全てを捨ててきた家族避難者が多く、生活再建は難しい。支援の打ち切りにより路頭に迷う人が出る。

委員の質疑

問 福島県の現状は。

答 子どもは甲状腺がん、大人は心筋梗塞など循環器系の病気が増えていると聞く。次の支援策として福島県内への帰還者を対象に条件付きで平成29年4月から2年間の家賃補助に切り替わる。

紹介議員の説明

国と東京電力の責任できちんと支援するべき。

態度表明

国が責任を持ち、さらに継続を望む。自主避難者は他の支援が受けられず、無償住宅支援のみが心の支えで命綱でもある。東京電力から継続的賠償がない自主避難者への支援は必要なので「可」。

支援継続には、復興予算だけでなく福祉予算を確保すべき。継続だけが安心ではない。福島に帰れる施策が必要。残った人と避難した人との支援のバランスに問題があるので「否」。

賛成多数で採択

意見書第6号 「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」

◆議会運営委員会

本年10月27日に、全国市議会議長会会長から本市議会議長に届けられた意見書の提出依頼を受けて、11月22日に会派代表者会議が開催されました。

その後、各会派の協議結果を踏まえて、12月7日に議会運営委員会を開催し協議した結果、「地方議会の役割が、ますます重要になると同時に、議員の専門化も進んでいる。一方では、地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

このような状況を踏まえ、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する」との意見書の趣旨に、全会派を含む全委員が賛成し、提出するものです。

全員賛成で可決

